

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成28年11月17日(2016.11.17)

【公開番号】特開2014-85337(P2014-85337A)

【公開日】平成26年5月12日(2014.5.12)

【年通号数】公開・登録公報2014-024

【出願番号】特願2013-202874(P2013-202874)

【国際特許分類】

G 01 L 19/06 (2006.01)

【F I】

G 01 L 19/06 Z

【手続補正書】

【提出日】平成28年9月29日(2016.9.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

圧力センサにおいて、

空洞を有する第1のハウジングと、

前記空洞の底部に取り付けられている圧力検知デバイスと、

前記圧力検知デバイスと前記空洞内の他の構成要素との間を接続する電気接続と、

ゲルの層であって、前記圧力検知デバイス及び前記電気接続の少なくとも一部は前記ゲルの層に埋め込まれる、前記ゲルの層と、

前記ゲルの層の上方の蓋と、

前記ゲルの前記電気接続にわたる動きを低減するために前記ゲルの層と接触している前記空洞内のバッフルとを備える、圧力センサ。

【請求項2】

前記バッフルは前記ゲルの層の上の高弾性率表面層を含んでなり、前記高弾性率表面層は、該高弾性率表面層が前記ゲルの層よりも高い弾性率を有するようとするゲルおよび粒子状物質を備える、請求項5に記載の圧力センサ。

【請求項3】

前記蓋は前記空洞の上にあり、

前記蓋は前記ゲルの層の上面の少なくとも一部分まで伸張する部分を有し、

前記蓋は開口を有する、請求項1に記載の圧力センサ。

【請求項4】

前記蓋は開口を備え、

前記バッフルは複数の壁バッフルをさらに備え、

各壁バッフルは前記開口を包囲し、

各壁バッフルは前記蓋から伸張し、

各壁バッフルについて、前記開口の反対の前記壁の一方の側から前記開口へと空気が移動する経路が存在する、請求項1に記載の圧力センサ。

【請求項5】

圧力センサにおいて、

空洞を有する第1のハウジングと、

前記空洞の底部に取り付けられている圧力検知デバイスと、

前記圧力検知デバイスと他の構成要素との間にある前記空洞内の電気接続と、
前記空洞内の低弾性率ゲルの層であって、前記圧力検知デバイス及び前記電気接続の少
なくとも一部は前記ゲルの層に埋め込まれる、前記低弾性率ゲルの層と、

前記低弾性率ゲルの層の上方の蓋と、

前記電気接続及び前記圧力検知デバイスにわたる前記低弾性率ゲルの動きを低減するた
めのバッフルであって、該バッフルは前記空洞内で前記低弾性率ゲルと接触しているバッ
フルとを備える、圧力センサ。

【請求項 6】

前記蓋は開口を備え、前記バッフルは、前記ゲルの上面上の生地と、前記ゲルの上面上
の緩和層であって、該緩和層が前記低弾性率ゲルの層よりも高い弾性率を有するように、
ゲルおよび粒子状物質を備える、緩和層とから成る群のうちの1つを含んでなる、請求項
5に記載の圧力センサ。